みなみっ子

78号

令和８年 10 月 19 日（月）
南城市立大里南小学校
文責　校長　與儀　毅

学校教育目標　　自立　　協働　　創造

思いがけない「すてき」を見つけよう！ 毎日をもっとワクワクさせるセレンディピティのおはなし

みなさんは**「セレンディピティ」**という言葉を聞いたことがありますか？これは、**「ふとした偶然から、思いがけない素晴らしい発見や幸運をつかみ取ること」**を意味する言葉です。じつは、歴史上の大きな発明や新発見の多くも、この「偶然のきっかけ」から生まれています。子どもたちの日常にも、たくさんの「すてきなきっかけ」が転がっています。今回は、毎日の生活の中でワクワクする発見を増やしていくためのヒントをご紹介します。

1 児童の皆さんへ 今日からできる！3つのワクワク作戦





ふだんの生活を「ちょっとだけ」変えてみると、新しい「すてき」に出会えます！

①いつもと「ちょっとちがう」をためしてみよう！

・図書室で、いつもは読まないジャンルの本を開いてみる。
・学校や家で、今まで気づかなかった花や虫を探してみる。

②「なんでだろう？」「おもしろい！」をあつめよう！

・ふと気になったことは、ノートにメモしたり先生やお家の人に話してみよう。

③「失敗」や「思い通りにならないこと」もたのしもう！

・うまくいかなかった時は「別のやり方をあみだすチャンス！」
・失敗の中から新しい工夫が生まれることもたくさんあります。

2 保護者の皆様へ　ご家庭で育む「気づく力」と「挑戦する心」

セレンディピティを引き寄せるためには、日常の小さな変化に気づくアンテナと、一歩踏み出す柔軟性が大切です。ご家庭でもぜひ次の3つを意識してみてください。

①「問いかけ」に一緒に面白がる

お子様の「なんで？」「見て見て！」に対して、「本当だね、どうしてだろう？」と一緒に探究を楽しむ姿勢が、観察力や知的好奇心を育てます。

②あえて「いつもと違う選択」を楽しんでみる

休日の過ごし方や夕食のメニュー、通るルートなど、ちょっとした変化をご家族で楽しむ体験が、柔軟な思考を作ります。

③失敗を「次のアイデア」に変換する

予期せぬトラブルや失敗が起きた時も、「ここから何か面白い工夫ができるかな？」と前向きに捉え直す声をかけてみましょう。

